

# アタマジラミ

**アタマジラミの特徴**(人の頭に寄生して、頭皮から血を吸って生きています。)

- 成虫・・・灰黒色でメスは体長約3mm、オスは体長約2mm。  
寿命は約1ヶ月。1日に数回血を吸う。このとき大変かゆく、かくとかさぶたになります。
- 卵・・・灰白色の楕円形で髪の毛にしっかり固着しているため、簡単には取れません。約7日で孵化し、その後7～16日で成虫になります。髪の毛の根元から3から8センチはなれたところに産み付けられ、孵化したのちの成虫は固定してフケに似ている。



(成虫)



(卵)

## 感染のしかた

- ・アタマジラミに感染すると、吸血された部分にかなり激しいかゆみが現れます。
- ・頭の毛の間に生息しますが、頭の毛から落ちてても、3～4日は生存していますので、じゅうたんや毛布などに付着しますと、家族全員に感染する恐れがあります。
- ・髪と髪が直接接触したときに最も感染しやすいと言われています。また、帽子、タオル、衣類、寝具など直接体に触れるものから感染します。

## 調べ方

- ・毛髪をみて白いフケのようなものはないか。
- ・フケははらうと落ちますがアタマジラミの卵は落ちません。
- ・耳の後ろや後頭部の毛髪の中に潜んでいることが多い。
- ・成虫は見つけることが困難ですが、卵は見つかります。

## もし、アタマジラミの卵が見つかったら

- ・アタマジラミ専用の薬剤を使って駆除してください。シャンプータイプとパウダータイプがあり、約1週間から10日で駆除できます。薬局か医師に相談してください。そして、症状がなくても家族単位で一斉に治療をおこなう必要があります。
- ・成虫や卵は駆除剤で死滅しますが、卵は取れません。すきぐし(目の細かいくし)ですいたり、卵のある髪の毛をより分けて根元から切るなどしてください。
- ・アタマジラミの卵が見つかったときには、学校に連絡してください。

## 予防

- ・ **頭を洗う**・・・汗をかいたりするので、いつも洗って清潔にしておきましょう。ぬれた頭はブラッシングしてドライヤーで乾かしましょう。
- ・ **清潔にする**・・・お天気の良い日は、家の中の風通しをよくし、タオルや布団、衣類、帽子などはまめに洗濯をしたり、日光に当ててください。アイロンをかけられるものであれば、アイロンで熱消毒を施しましょう。卵も成虫も高温には弱い。(成虫は40度で死滅、卵は60度で死滅する) 布団やベッドの湿気に注意し、乾燥させて清潔にしておきましょう。
- ・ **まめに掃除機をかける**・・・成虫は頭皮から離れても、3～4日は生きています。子供が寝転がったりするじゅうたんは、毎日掃除しましょう。
- ・ **子供の様子を観察する**・・・子供と一緒に風呂に入ったときに、髪の毛をチェックしたり、頭をよく掻いていないかなど、日頃から子供の様子に気をくばることも大切です。

## プール

- ・ プールの水の中に入ると、シラミは毛から落ちないようにしっかり毛につかまる習性を持っているといわれます。プールの水の中でうつることはまずありえないと考えてよいでしょう。ただし、脱衣の際に髪の毛から脱落したシラミでうつされない様に、十分注意し、髪の毛を乾かすためのタオルも自分のものを使い、貸し借りをしないようにしましょう。
- ・ 水泳帽の貸し借りはやめ、自分の水泳帽をかぶりましょう。
- ・ 髪の毛が長い人は、ゴムなどでくくり、帽子の中にまとめましょう。

## 登校は

**治療処置をはじめさえすれば学校を休む必要はありません。**

## 不潔が原因ではありません

不潔とアタマジラミは全く関係ありません。毎日シャンプーしていても、アタマジラミは寄生することがあります。あまり神経質にならず、見つけたら広がらないようにすぐに駆除することが大切です。

## **偏見をもたないで！**

シラミの感染は、海外でも日本でも、何処の地域、どこの家庭でも起こる普通の感染症で、風邪にかかったのと同じようなものです。不潔とか汚いとか言って、シラミに感染した子供をいじめるようなことはしないでください。偏見を持たないようにしていくことが大切です。

和歌山県皮膚科医会